

平成31年度 国語科 2年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

< 2 > 第2学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを広げ、読書を生活に役立てようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしている。
書く能力	目的や意図に応じ、構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書いている。
読む能力	目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考え方をもっている。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化を楽しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、漢字の行書とそれに調和した仮名を書き、楷書又は行書を選んで書いている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ① 生徒の言語活動を充実させる指導。 ← 思考力・判断力・表現力の育成。
- ② 体験的な学習<体>や問題解決的な学習。 ← 自主的・自発的な学習の促進。
- ③ 学習の見通しを立てたりする学習。 学習を振り返ったりする学習。
- ④ 個に応じた指導の充実。 → 個別指導 グループ別指導 少人数指導
 ティームティーチング 習熟の程度に応じた指導
 繰り返し指導 生徒の興味・関心に応じた課題学習
 コンピュータを活用した学習 補充的な学習
 発展的な学習

国語科 2 学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
4	1 広がる学びへ 18時間	・「見えないだけ」 詩の表現に着目し、題名に込められた作者の思いを捉える。 詩の特徴が効果的に伝わるように工夫して朗読する。 ・「アイスプラネット」 登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して読み取る。 作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを書く。 ・「要点を整理して聞き取る」 話の要点や順序を整理しながらメモを取る練習をする。 ・「枕草子」 四季の情景を思い浮かべながら、繰り返し朗読し、心に残った季節の一節を暗唱する。 四季の趣について、作者の感じ方を読み取る。 自分流「枕草子」を、自分の季節感が効果的に伝わるように、描写や構成を工夫して書く。 ・「説明のしかたを工夫する」 伝えたい事柄が効果的に伝わるように、説明のしかたを工夫する。	●			● ● ●		表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方を読み取っている。 表現の特徴を生かし、工夫して朗読しようとしている。 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解している。 作品に表れているものの見方や考え方について、感想をまとめている。 情報を的確に聞き取り、要点を押さえたメモを作成している。
5			●	●		● ● ●		文体の特徴を生かし、「枕草子」の世界を楽しみながら朗読しようとしている。 描写の効果を考えて内容を理解し、作者の季節に対するものの見方や考え方を読み取っている。 自分なりの季節感が効果的に伝わるように、構成や描写を工夫して書いている。 説明する事柄の特徴を明確にし、適切な説明のしかたを選んで書いている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
6	2 多様な 視点から 14時間	・「多様な方法で情報を集めよう」 情報を整理し、自分の考えをまとめる。 紙面構成を工夫し、職業ガイドを作る。 ・「熟語の構成」 熟語の構成の種類について理解する。 ・「生物が記録する科学 ーバイオロギングの可能性」 文章を序論・本論・結論の三つのま とまりに分け、文章構成を捉える。 本論を読み、本論での説明のしかた の特徴を、事実と筆者の考えの示し 方などに着目して捉える。 ・「説明のしかたを工夫する」 目的を考え説明のしかたを決める。 選んだ説明のしかたに沿って、構成 を考え、文章にまとめる。 ・「魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする」 相手の知りたいことを想定し、効果 的な説明のしかたについて考え、進 行案を作る。 進行案を基に、グループごとにプレ ゼンテーションを行う。 ・「メディアと上手に付き合うため に一著作権について知る」 メディアとの付き合い方について 考え、著作権について知識を深め る。	●					興味をもった職業について情 報を集め、自分の考えをまと め、自分なりの職業ガイドを作 ろうとしている。 複数の方法で情報を集めて自 分の考えを整理している。 調べたことや自分の考えが伝 わるように、紙面構成を考えて まとめている。 ● 熟語の主な構成について理解 している。 文章の構成や事実と事実に対 する筆者の考えの組み合わせ に着目して、説明のしかたの特 徴を捉えている。 説明する事柄の特徴を明確に し、適切な説明の仕方を選んで 書いている。 多様な方法で情報を集め、目的 や聞き手に合わせて、材料を整 理して、伝えたいことが明確な 構成、展開を作ることができ ている。 ● 相手や目的に応じて、話の構成 や話し方を工夫している。 メディアの特徴に興味をもち、 付き合い方について考えたり、 情報を集めたりしようとして いる。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
7	3 言葉と 向き合う 11時間	・「類義語・対義語・多義語」 類義語と多義語，多義的な意味を表す語句の意味や用法について理解する。 身の回りにある言葉から，類義語・対義語・多義語について辞書で調べ，理解を深める。 ・「短歌を味わう」 短歌の特色を理解し，朗読しながらリズムに親しむ。 短歌に込められた心情や情景を想像して書く。 心情が伝わるように，描写を工夫して短歌を創作する。 ・「言葉を比べよう」 似た気持ちを表す言葉の使用例を比べたり，言葉を入れ替えたりして，共通点と相違点を考える。 ・「言葉の力」 言葉についての筆者の考えを読み取り，自分の考えを書く。 ・「自立語」 単語の分類，自立語の働き，自立語の各品詞の性質について理解する。 ・「読書生活を豊かに」 「世界で一番の贈り物」 構成や場面の展開の工夫に着目して，作品を味わう。 表現や構成を工夫し，1年生に向けた読書案内を作る。	●				●	類義語・対義語・多義語の意味について，具体例に当てはめて理解している。 類義語・対義語・多義語について興味をもって調べようとしている。 短歌の形式や表現に興味をもち，親しもうとしている。 表現の工夫に触れながら，短歌を読み味わい，感想をまとめている。 表現を工夫して，自分の体験や思いが伝わるように短歌を作っている。 似た気持ちを表す言葉に興味をもって，意味や用例を調べようとしている。 挿話と筆者の考えがどう関連しているのかを捉え，筆者の考えを読み取っている。 自分の言葉の使い方を見つめ直し，言葉と人との関わりについて考えをまとめようとしている。 自立語の位置や語形，働きについて理解している。 作品に込められたメッセージや文学作品としてのよさについて，自分の考えをもち，友達と話し合っている。 興味関心に沿って，様々な本を読み広げようとしている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
11	5 いにしえの心 を訪ねる 10時間	・「同じ訓・同じ音をもつ漢字」 読み方が同じでも、意味・用法の異なる漢字や熟語について理解する。 ・「平家物語」 古典の文書を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を読み味わう。 登場人物の心情を想像しながら作品を読み、古典に描かれたものの見方や考え方に触れる。 ・「徒然草」 登場人物の行動の描写に着目し、作者の物の見方や考え方に触れ、自分の考えをもつ。 ・「漢詩の風景」 漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 漢詩に描かれた季節、情景、作者の心情を読み味わう。 三編の漢詩から自分の好きな一編を選び、その理由を述べる。	●				●	漢字の訓や音について理解し、同じ読みの漢字を用いて短文を作っている。 漢字の訓や音に関心をもち、漢字について理解を深めようとしている。 独特の調子とリズムを楽しみながら音読している。 ● 歴史的仮名遣いやリズムなど特徴を捉えて朗読している。 登場人物の言動から心情を考え、そこに表れた価値観などに対して、自分なりの考えをもち、意見を述べている。 表現を味わいながら、作者の考え方について、自分の感じ方と比較して、感想をまとめている。 ● 漢詩特有の言葉遣いや調子を知り、リズムを味わいながら朗読している。 ● 漢詩と解説文を朗読し、漢詩独特の言い回しに慣れ親しみながら、詩の情景や人物の心情を想像している。
	6 論理を捉えて 20時間	・「君は『最後の晚餐』を知っているか」 使われている言葉や表現の工夫などの注意しながら、筆者のものの見方や考え方を読み取る。 ・「相手の考えを踏まえて発言する」 例文を参考に、同意と反論の意見を考える。 話し合いで効果のある表現を用いて、自分の意見を述べる。	●	●			●	● 言葉の使い方、論理展開などに着目して読み、筆者のものの見方や考え方を捉えている。 相手の考えをしっかりと聞き、発言しようとしている。 相手の考えを踏まえて、自分の意見を述べている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
12		・「パネルディスカッションをする」 立場によって意見や考え方が明確に分かれるテーマを選び、異なる立場や考えを想定して考えをまとめ、説得力のある意見を述べる。 相手の立場や意見を尊重しながら目的に沿って話し合い、互いの考えを生かし合う。 ・「意見文の説得力を考える」 教材分を読み、説得力のある方を選び、その理由を考える。 ・「意見文を書く」 社会生活の中から課題を決め、自分の意見とそれを支える根拠を明らかにする。 反論を想定した意見も含めた文章の構成を考え、意見文を書く。 ・「落葉松」 表現技法や連の構成などの表現のしかたに着目し、情景や作者の感じ方を捉える。 ・「用言の活用」 用言の活用について理解する。 ・「小さな町のラジオ発」 災害時における情報の大切さについて、自分の考えをもつ。 筆者の「声」に対する考え方について、自分の考えをもつ。	●	●	●	●	●	異なる立場を想定して考えをまとめ、説得力のある根拠を述べている。 自分の意見と比較しながら、他の意見にも耳を傾けている。 意見を効果的に伝えるための要素として、根拠と反論に対する考えの示し方を理解している。 自分の立場や意見が伝わるように、根拠を明らかにして書こうとしている。 自分の立場を決め、根拠を明らかにして、構成を工夫して文章を書いている。 ● 意見文にふさわしい論の展開や、語句の使い方などに気づいている。 ● 表現のしかたや、作者のものの見方や感じ方について自分なりの感想をもっている。 ● 反復など、表現技法について理解している。 ● 用言の活用形と活用の種類を理解している。 文章に描かれた状況を思い浮かべながら読み、同様のテーマやジャンルなどの本に関心を広げようとしている。 筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもっている。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
1	7 表現を 見つめて 27時間	・「走れメロス」 表現の巧みさを読み味わい、内容の理解に役立てる。 描写や会話に着目しながら、登場人物の人物像の変化を読み味わう。 登場人物の行動や考え方について、自分の考えを書く。 ・「付属語」 助詞・助動詞の働きと種類について理解する。 ・『ある日の自分』の物語を書く」 これまでの生活を振り返り、自分を物語の登場人物の一人として、物語のあらすじを書く。 効果的な描写の工夫をして、物語を書く。	●			●		抽象的な概念を表す語句や難語句に関心を持ち、語句の意味について調べている。 登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた「友情」や「正義」に対する考え方と自分の考えを比べたりしている。 助詞と助動詞について整理した内容を理解している。 自分の体験の中から題材を探し、表現を工夫しようとしている。 場面の様子や気持ちの変化が効果的に伝わるように描写や構成を工夫して書いている。 気持ちを効果的に伝えるために、語句や文章表現などに気をつけている。
2		・「方言と共通語」 方言と共通語の果たす役割について理解する。 ・「科学はあなたの中にある」 事例と筆者の問いとの関連を話し合う。 筆者の考え方について、知識や体験を結び付け、自分の考えをまとめる。 ・「送り仮名」 送り仮名の付け方の原則と例外について理解する。	●		x x ●			方言や共通語に関心を持ち、それぞれの使われ方について考えようとしている。 方言と共通語の違いについて理解している。 自分の知識や体験を照らし合わせながら、文章を読み、考えを深めようとしている。 事例と主張の関係を捉えて、筆者の見方や考え方理解している。 送り仮名の主な原則と例外について理解している。

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点					評価規準 評価の方法
			関	話	書	読	知	
3		・「一年間の学びを振り返ろう」 一年間の学習を振り返り，報告書の内容・構成を考える。 グループで話し合い，内容を整理し，資料を作り，報告書にまとめる。 ・「鍵」 一つ一つの言葉の意味を考えながら読み，作者の思いを捉える。 詩を読んで，自分の考えをもち，発表する。	●			●		一年間の学習について関心をもって振り返り，より伝わりやすい発表や報告書にしようとしている。 わかりやすい構成や説明の工夫をして報告書を書いている。 詩の内容に関心をもち，作者の思いを考えようとしている。 作者が思い描いているイメージや思いを読み取り，自分の考えをもつ。